

「幅広い市民を対象とした普及について」



- 1・越谷市自治基本条例の制定を記念してマスコットキャラクターを誕生させてみてはいかがかと思いました。マスコットキャラクターのデザインと名前は公募により決めます。次にそのマスコットキャラクターのプロフィールや似合った話し方、言葉等を考えます。例えばプロフィールですが「好きな食べ物、趣味」等はもちろんの事とは思いますが役職は「市長秘書とか自治基本条例推進大使、自治基本条例推進特命係長」等を付けたり、話し方等は鳩に似たキャラクターなら「今日は〇〇が行われるポップ。みんな参加するのだポップ。」等です。その全てが決まりマスコットキャラクターが誕生したら越谷市民として住民票登録をしたり、ツイッターでつぶやきを配信したり、差支えない部分でのメール等の配信はそのマスコットキャラクターに行ってもらったら面白いのではと思いました。しかし誰がマスコットキャラクターを演じるかは検討が必要かと思います。それと上記の事を行うにあたりやはり、『越谷市自治基本条例』と云う名前は固いと思うので、愛称やキャッチフレーズを公募で決める事は必須ではと思います。
- 2・越谷市自治基本条例の制定を記念して「越谷市花火大会」で打ち上げられる花火ですがデザインしたものを打ち上げ花火の形にする事が可能であるなら、一部を自治基本条例の枠として市民の皆さんからデザイン画やそのデザインした花火に込めた想いを公募してみてもはと思いました。デザイン画が難しい場合は自分達の住むまちへの想いや理想する住むまちの未来や願いを公募し、それを花火で表現してもよいとも思います。みんなで市民の誰かがデザインした花火へ込めた想いを感じつつ、夜空にやさしく花開き観ている市民をあたたく見守ってくれる花火を鑑賞する事は幅広い市民への普及になるのではと思いました。その際ですが花火を打ち上げる前に匿名希望でない場合は作者の名前、その花火に込めた想いを放送で流し、ついでに「自治基本条例（愛称やキャッチフレーズが決まっている場合はその愛称等も）の制定を記念して」等色々と付け加えしつこく放送したら少なくとも名前は耳に入るのではと思いました。
- 3・越谷市自治基本条例を利用したストーリーを創りドラマを制作し、『いきいき越谷』で放送してみてもはと思いました。例えば時代劇風にするなら黄門さまの「印籠」の代わりに「越谷市自治基本条例ポケット版」をかざして問題を解決するとか、遠山の金さんが「桜吹雪」を見せる代わりに、「越谷市自治基本条例パンフレット」が背中に貼ってあり、それを見せ問題を解決すると云った事や、冒険活劇風なら「越谷市自治基本条例」にある3つ原則を各アイテムとして各章にちなんで制作したストーリーの中で勇者とそのパーティーが敵を倒し、問題を解決して行きアイテムを集め、最後に勇者

のあつい想いでもある「市民主権」、「人間尊重」の理念と集めたアイテムの数々で敵のボスキャラクターを倒すと云った事です。ちなみに「まちづくりに無関心」、「中央集権」と云った事を敵のボスキャラクターに例えてみてはとも思いました。ドラマの制作はキャスト、スタッフ等は公募し、市職員と共に制作します。脚本・演技指導等は越谷市内の学校の演劇部や市民活動で行っている劇団に協力を呼び掛け、脚本は前者の皆さんはもちろんの事、お笑いを研究しているサークル等があったら共にアイデアを出し制作してもよいとも思いました。ただし、みんなで意見を出し合って話し合いストーリーは勿論の事、どうやったら予算を掛けないで制作していけるかを考える事は大切だと思います。

- 4・『広報こしがや』を利用して「越谷市自治基本条例掲示板」と云ったものの創設はいかがかと思いました。例えば「市長へのなんでも相談室」では人生相談や悩み等を募集して市長へ相談に答えて頂くコーナーや「教えてください！！」ではこの料理はどうやってつくるの？とか、この商品はどこで買ったの？と云う情報を交換するコーナーや「ゆずります。ゆずってください。」では無償で使わなくて不要になった物を譲ってくれる方、必要な物を探している方、また無償でその方へ探している物を譲ってくれる方の橋渡しをするコーナーです。内容は検討が必要ですがインターネット上で行われている様な内容をあえて活字で行ったら「越谷市自治基本条例」の普及にならないかと思いました。最後に「越谷市自治基本条例掲示板」の一部のスペースを利用し、広告を募集してスポンサーを募り、集まった資金は「越谷市自治基本条例」の普及活動に使えないかとも思いました。
- 5・前にも『若い世代への普及』で提案した「かもネギ鍋を作って配るのではなくみんなで作って食べる」企画や『市民活動団体、地域コミュニティ組織への普及』で提案した「市民まつりを利用して市職員と共に資金を稼ぐ」企画もよいのではとも思いました。

「自治基本条例推進会議」への提案



「自治基本条例推進会議」への提案ですが今後ワークショップには事務局のみなさまも交えて行ったらよいのではと思いました。アイデアを出し合い高め合っていく事は勿論の事、アイデアを出しても規制や法律によって実現が不可能に近い事もあると思います。そう云った情報を教えて頂きアイデアが絵に描いた餅にならない為にも事務局のみなさまとワークショップを共に行う事はよいのではと思いました。次に「越谷市自治基本条例推進会議」に傍聴へ来て頂いた方に任意にてアンケート用紙に傍聴をしてみたの感想等を聴く事も今後の推進会議にはよいのではと思いました。最後に推進会議が終わると私自身、一方通行ではなかったかな？と云う想いがあり、事務局のみなさんはどう感じたのかと云う事を思う時もあります。そこで提案ですが『会議録』の編集を事務局のみなさまが行っておりますが『会議録』の終わりに事務局からの「編集後記」を付けてみてはと思いました。しかし、みなさま、ご多忙であると思うし様々な理由があると思うので出来ない場合は無理は云えません。